

2023年1月13日

## 第61回 関西財界セミナー 開催概要

一般社団法人 関西経済同友会  
公益社団法人 関西経済連合会

第61回関西財界セミナーの開催概要につきましては、下記の通りと致しましたので、ご案内申し上げます。

### 記

#### 1. 基本認識

コロナ対応に追われた過去2年あまりの時期を越えた先にわれわれが見ている風景は、世界の地政学、金融など、それ以前とは劇的に変化したものとなっています。

なかでも、ロシアによるウクライナ侵攻は世界に大きな衝撃を与えました。わが国企業は、資源エネルギー市場の変動に見舞われ、さらに潜在的なリスク・経済安全保障の観点を意識したビジネスプラン、サプライチェーンの検証を迫られています。金融面では多くの国で緩和政策が転換し、これに伴いドル高・円安が進展するとともに、先進国・中国などでの成長の鈍化も懸念されています。こうしたなかにあっても、DX・GXを含め、将来を見越したイノベーションへの取り組みは待ったなしの課題であり、産業構造の変化をも予感させるうねりをもたらしつつあります。

これまで前提としていたさまざまな事象が当たり前ではなくなるとの認識に立って、企業・政府・個人等あらゆる主体が健全な危機意識を持ち、不透明な時代を生き抜くうえで進むべき方向性を定め、早急に具体的な取り組みに着手すべきではないでしょうか。長く低成長を続けてきたわが国経済が、新しい時代に乗り出すにあたってどのような心構えをもつべきかが問われています。

このような認識のもと、「変動する世界、日本の針路」をテーマに第61回セミナーを開催します。この変動する世界において、経営者が、そして日本が向き合うべきテーマについて5つの分科会を設け、皆さまと2日間の議論を尽くしたいと存じます。

2. 日 時 2023年2月9日(木)・10日(金)
3. 場 所 国立京都国際会館
4. テーマ 変動する世界、日本の針路
5. 主 催 (一社)関西経済同友会、(公社)関西経済連合会
6. 協 力 大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所  
(公財)関西生産性本部、(一社)京都経済同友会、(一社)神戸経済同友会
7. 当日スケジュール(予定)

2/9 [第1日]	10:00~10:05	5分	開会(国歌斉唱)
	10:05~10:15	10分	開会挨拶(生駒代表幹事)
	10:15~10:30	15分	主催者問題提起(松本会長)
	10:30~11:40	70分 (準備含)	基調講演 出雲 充 (株)ユーグレナ 代表取締役社長
	11:45~12:35	50分	昼 食
	12:40~14:40	120分	分科会討議(第1セッション)
	14:40~15:00	20分	休 憩
	15:00~17:00	120分	分科会討議(第2セッション)
	17:10~18:00	50分	交流会(※)
2/10 [第2日]	09:00~10:40	100分	分科会討議(第3セッション)
	10:40~11:00	20分	休 憩
	11:00~12:20	80分	分科会討議(第4セッション)
	12:25~13:25	60分	昼 食
	13:30~14:10	40分	関西財界セミナー賞2023贈呈式
	14:20~15:20	60分	特別講演 石川 勝 (公社)2025年日本国際博覧会協会 会場運営プロデューサー、 (株)シンク・コミュニケーションズ 代表取締役
	15:30~16:00	30分	分科会議長・モデレーター報告
	16:00~16:10	10分	顧問団代表所感(塚本会頭)
	16:10~16:20	10分	主催者声明・閉会挨拶(角元代表幹事)
	16:30~16:50	20分	主催者代表記者会見
16:30~17:20	50分	懇親パーティ(※)	

※交流会、懇親パーティについては、実施の方向で検討中

## 8. タイムテーブルと各分科会の概要

(敬称略)

2月9日(木)

### ◆全体会議 [10:00～11:40]

#### (1)開 会

(2)開会挨拶 生 駒 京 子 (一社) 関西経済同友会 代表幹事

(3)主催者問題提起 松 本 正 義 (公社) 関西経済連合会 会長

#### (4)基調講演

講師：出 雲 充 (株)ユーグレナ 代表取締役社長

演題：「僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。

～今こそ、サステナビリティ経営の志を～

### ◆昼 食 [11:45～12:35]

### ◆分科会討議 [12:40～17:00/2月10日(金)午前に続く]

## 第1分科会：企業経営を取り巻く国際情勢と今後求められる企業戦略

グローバル資本主義の拡大とともに相互依存を強めてきた世界経済は、民主主義国家と権威主義国家間の分断、とりわけ米中のデカップリングや格差の拡大、さらにはロシアのウクライナ侵攻という情勢のなかで、企業に新たな地政学的状況への対応、エネルギーや原材料等の重要物資の調達見直し、金融および通貨面でのリスク、環境問題への対応など、事業活動の根幹に関わる戦略の見直しを迫っている。こうした危機にいかに対処し、したたかに事業を発展させるかについて議論する。

#### セッション構成：①企業を取り巻く地政学的リスク

②環境やエネルギーをめぐる国際情勢と今後の対応

③国際情勢が激変するなかでのグローバル戦略のあり方

議 長 佐 藤 基 嗣 パナソニックホールディングス(株) 代表取締役 副社長執行役員  
富 田 稔 丸紅(株) 執行役員 大阪支社長

問題提起者 佐 橋 亮 東京大学東洋文化研究所 准教授  
今 村 卓 丸紅(株) 執行役員 経済研究所長  
鈴 木 一 人 東京大学公共政策大学院 教授、地経学研究所長  
篠 田 邦 彦 政策研究大学院大学 教授

備考：関経連担当

## 第2分科会：次世代の国土と関西のデザイン

現在、国においては、「新しい資本主義」や「デジタル田園都市構想」もふまえて次期国土形成計画の検討が進められており、今後はブロックごとの広域地方計画の検討も本格化する。この機を捉え、長期的な日本の国土のあり方、そのなかでの関西の役割や発展戦略、および地域・企業の取り組みについて、インフラ、災害対応、広域行政の推進など、さまざまな角度から議論する。

- セッション構成：①長期的な国土のあり方と重点課題  
②関西の役割と発展戦略  
③ポストコロナと新たな国土形成に向けた地域・企業の取り組み

議長 檜原 誠 慈 東洋紡(株) 取締役会長  
小坂 肇 (株)奥村組 副社長執行役員

問題提起者 中出 文平 長岡技術科学大学 名誉教授  
荒木 秀之 りそな総合研究所(株) 主席研究員  
瀬田 史彦 東京大学大学院 工学系研究科准教授

備考：関経連担当

## 第3分科会：アジアのオープンイノベーション拠点をめざして

関西の持続的な成長には、「イノベーション」すなわち新たな技術・サービスが次々と生み出され、人々の生活が豊かになり、従来の産業構造に大きな変化をもたらすことが必要である。スタートアップとの連携、デジタル時代に対応した変革(DX)など新たな潮流のなかで、これを実現するために経済界が取り組むべきことは何か。本分科会では、関西各地の産学官が連携し、「大阪・関西万博」や「スーパーシティ」等を起爆剤として、関西がアジアのオープンイノベーション拠点として成長するための方策を議論する。

- セッション構成：①関西におけるオープンイノベーションのポテンシャルと課題  
②産業の新たな潮流とオープンイノベーションを支える企業文化  
③Beyond 2025；関西の未来予想図

議長 堀 直樹 (株)三菱UFJ銀行 取締役会長  
諸 富隆一 阪急阪神不動産(株) 代表取締役社長

問題提起者 室田 浩司 京都大学 産官学連携本部長  
橋 寺由紀子 (株)フェニクシー 代表取締役  
ファビアン タン シンガポール共和国大使館 商務部 参事官

備考：関経連担当

## 第4分科会：30年間、我々は何を間違ってきたのか

この30年間、日本は低空飛行を続けている。一人当たりGDPは伸び悩み、賃金水準は上がらず、近隣の国々にも追い抜かれ、「安いニッポン」※が常態化した。官民ともにDXへの取り組みは周回遅れで、抜本的な産業構造の変革も進んでいない。さらに国家財政は悪化の一途である。なぜ、今のような状況に至ったのか？我々は何を、どこで間違ってきたのか？同じ過ちを繰り返さないために、世代を超えて「原因」と向き合う。

(※日本経済新聞特集『安いニッポン』をどう生きるかより)

◇ 本分科会では、若手起業家、NPO代表、社会課題解決を行う当事者など、経済人以外からも10名程度が参加予定です。

セッション構成：①経済政策、何を間違ってきたのか？  
②人づくり、何を間違ってきたのか？  
③企業経営、何を間違ってきたのか？

モデレーター 内田 有希昌 ポストン コンサルティング グループ 日本共同代表  
川崎 清隆 (弁)御堂筋法律事務所 代表社員・弁護士

意見発表者 西山 圭太 (株)経営共創基盤 シニア・エグゼクティブ・フェロー  
海老原 嗣生 中央大学大学院 戦略経営研究科客員教授、  
(株)サッチモ 代表取締役  
田中 邦裕 さくらインターネット(株) 代表取締役社長

備考：同友会担当

## 第5分科会：30年後、私の「カイシャ」はどうなっているのか

この30年間、日本は事実上ゼロ成長を続け、今もなお停滞から抜け出せていない。現在の延長線上にあるわれわれの未来はディストピアかもしれない。

次の30年後、私の「カイシャ」はどうなっているのだろうか。どんな事業をし、どのように人材を活用し、どう経営しているのか。それぞれの「カイシャの未来」に正面から向き合い、明日からの一歩を変えるために、経営者が本気で議論する。

セッション構成：①30年後の社会とカイシャ～延長線上の未来をみる～  
②30年後の経営  
③30年後の人材活用～誰が（何が）担うのか～  
④今日から私は何をするか

モデレーター 高橋 朋幸 (株)三菱総合研究所 執行役員 営業本部長  
上野 信子 ジャトー(株) 顧問

有識者 三品 和広 神戸大学大学院 経営学研究科教授

備考：同友会担当

◆交流会 [17:10~18:00] ※実施の方向にて調整中

2月10日(金)

◆分科会討議 [9:00~12:20/2月9日(木)から継続]

◆昼食 [12:25~13:25]

◆全体会議 [13:30~16:20]

(1)関西財界セミナー賞2023贈呈式

(2)特別講演 講師:石川 勝

(公社)2025年日本国際博覧会協会 会場運営プロデューサー、

(株)シンク・コミュニケーションズ 代表取締役

演題:万博が描く未来社会

(3)分科会議長・モデレーター報告

(4)顧問団代表所感 塚本能交 京都商工会議所 会頭

(5)主催者声明・閉会挨拶 角元敬治 (一社)関西経済同友会 代表幹事

◆懇親パーティ [16:30~17:20] ※実施の方向にて検討中

(並行して、主催団体トップによる記者会見)

以上